

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】小坂町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
2	2005.3.30			秋田県	小坂町	178	7,171.00
構想の要約		鉱山技術を活かした「エコタウンの町」づくりを進めるとともに、生ゴミの堆肥化や遊休農地等を活用した菜の花栽培、廃食用油のBDF化とその農機での利用に取り組む。「土に環るものは土にかえし、土に環らないものは再資源化する」を目標にする。					
構想に盛り込まれた事業		菜の花作付田圃の拡大 搾油・BDF製造の開始 菜種油・BDFの試用実施 菜の花循環システムの本格始動					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃業紙					
下水汚泥など					
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(マルチ)		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

(1) 利活用目標

・廃棄物系バイオマス

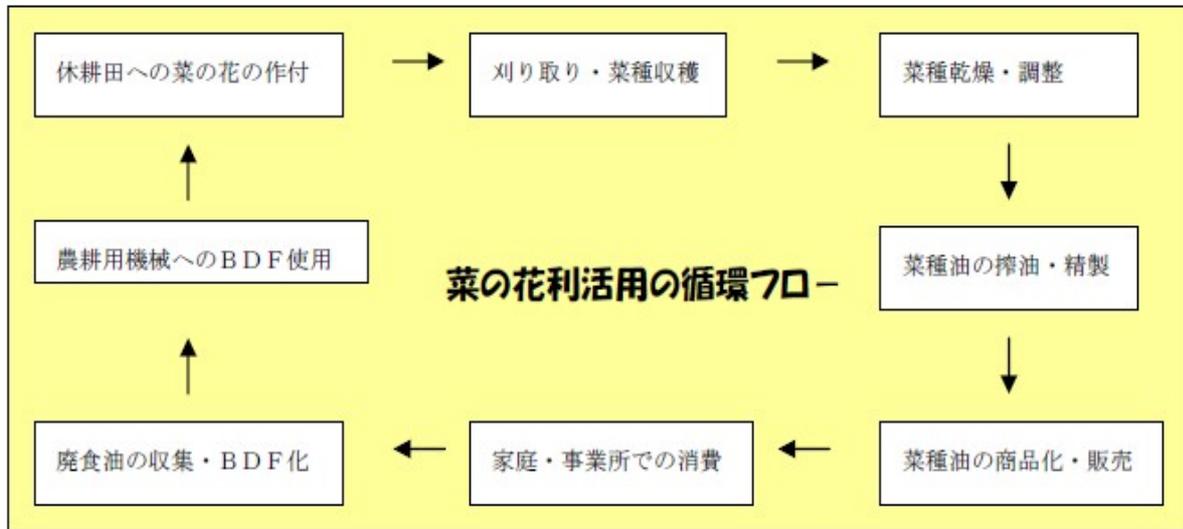
家畜排せつ物は堆肥化と農地還元により、現在100%が再利用されており、今後も一層安定的な利活用を図る。

一方、食品廃棄物は食品残渣の堆肥化と廃食用油の再資源化により現在は10%以上が再利用されているが、今後は収集対象を中央部全域へ拡大し、さらに周辺農村部のコンポスト化による自家処理の更なる推進により90%の利活用を目指し、これらの成果として現在の98%の廃棄物系バイオマス利用率を一層高める。

・未利用系バイオマス

稲わら、籾殻ともに農地還元により、現在も95%利用されているが、今後は廃棄物系バイオマスの堆肥化処理における副資材としての活用も視野に入れ、より安定的な利活用を図る。

バイオスタウン構想概要図
(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)